

平成 28 年度第 1 回訪問リハビリテーション連絡会

テーマ：『「診療報酬改定」と「在宅との繋がり」』

日時：平成 28 年 8 月 19 日（金）19：00～20:30

会場：北海道医療大学 札幌サテライトキャンパス

参加者： 42 名

平成 28 年度第 1 回訪問リハビリテーション連絡会がアスティ 45 の北海道医療大学札幌サテライトキャンパスにて開催されましたので、ご報告させていただきます。

今回は『「診療報酬改定」と「在宅との繋がり」』というテーマで、新さっぽろ脳神経外科病院の濱本龍哉先生に講演して頂きました。

28 年度の診療報酬改定だけではなく近年の診療報酬・介護報酬改定について分かりやすく解説して頂きました。ここ数年の診療報酬・介護報酬の改定は地域包括ケアシステムの構築に向けたもので、「医療と介護の連携」、「活動と参加を視野に入れたリハビリテーションアプローチ」を推進していくということでした。今後は在宅でのリハビリテーションにおいて、在宅生活の限界点を高めるために「生活機能の向上」「自立支援の考え方の共有」「自助意識とセルフエフィカシーの醸成」ということが重要になるということを説明して頂きました。リハビリテーション専門職として、地域を支えるためにはどうすれば良いのかということを確認することができました。

また今後の地域包括ケアシステムの中で、「病期を超えた多職種での連携」が重要ということでした。その中で濱本先生より、多職種ではなくリハ専門職同士の連携は取れているのか？というお話がありました。実際の業務においては、病院スタッフから退院時の利用者様の情報を頂くことはあっても、在宅の立場からその後の情報を提供することは少なく、連携に不十分な部分があると感じました。病院、訪問のスタッフがお互いに、双方向に情報を交換し、連携をとっていければと感じました。

講義して頂いた濱本先生・参加して頂きました皆様、ありがとうございました。

